

## 「自立と社会参加に向けて」

教頭 高橋 斉



早、年度末を迎え、本日、高等部生徒18名は本校を卒業し、いよいよ社会へ飛び立ちます。生徒全員が大きなけがや病気もなく、無事、高等部3年間を過ごせたことを何よりもうれしく感じます。

さて、生徒たちはこの3年間、職場（施設）見学や職場（施設）体験、前期・後期実習（現場実習、校内実習）、個別実習などを重ねてきました。これらの体験（学び）を通して、「自分はどんな仕事に興味・関心があるのか」「自分はどんな作業内容に向いているのか」「自分にとって安心・安定できる場はどこなのか」を、生徒一人一人が懸命に悩み、考えてきました。時には不安が膨らんでふさぎ込んだり、いらいらがつのって他者に感情をぶついたりするときもありましたが、生徒全員が、それぞれに安心・安定できる働く場・活動の場・生活の場を見つけることができたと思います。

ところで、児童生徒が卒業後、自立的な生活を送るためには、様々な体験を通して「自己理解を基盤に、自己選択、自己決定ができる力を身に付ける」ことが大切と考えます。自己理解は、自分の興味・関心や得意・不得意を知ることです。興味・関心が高ずれば趣味になります。得意を伸ばせば特技となります。不得意を素直に受け入れることができれば、それを補うための支援を他者に依頼できるようになります。ひいては、自己と違う個性をもった他者を肯定的に理解し、お互いが認め合うことにもつながります。

自己選択・決定の場面は、学校生活の中でも家庭生活の中でもたくさんあります。たとえば「飲み物は、牛乳にする？オレンジジュースにする？」「部活動には、自転車を使って行く？路線バスに乗って行く？それとも車で送り迎えしてもらおう？」など、決して難しいことはありません。どのような活動でも児童生徒一人一人が「何のためにやるのか」「それによってどのようなメリット（価値・利益）があるのか」を理解し、自分で選択・決定し、責任をもって最後までやり遂げることが大切です。私たち教職員や保護者、家族は、そのための支援を行うことが大切であると考えます。

今後も、児童生徒の自己理解を促し、主体的な選択・決定の機会を保障することで、進路実現（自立と社会参加）できるように支援したいと思います。

# 高等部3年生の進路状況



社会人として新しい一歩を踏み出す高等部3年生の皆さん、夢に向かってはばたいください。

今年度の高等部3年生の進路が決まりましたので、お知らせします。

一般事業所	業務内容	人数
製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリ取り、機械加工</li> <li>・電子部品の製造補助、清掃</li> <li>・部品、資材の準備、運搬</li> <li>・電子部品製造オペレーター</li> </ul>	4
保育園	清掃、環境整備、給食やおやつ の準備、片付け、消毒等	1
スーパー	野菜の袋詰め、商品陳列、補充	1

福祉サービス事業所	サービスの種類	人数
地域生活支援センター	生活介護	1
心身障害者コロニー	生活介護	1
逢い	生活介護	1
さん・とらっぴ	生活介護	2
ぼぼろの家	生活介護	1
あゆみ	就労継続支援B型	3
くるみの里	就労継続支援B型	2
ハイタッチ ほっこり苺の里	就労継続支援B型	1



今年度、佐藤一朗さんが本校のコミュニティ・スクールディレクターとして、主に高等部の現場実習の開拓や雇用までの調整など、なかなか目に見えないところで支えてくださいました。一年間を振り返っての所感をいただきましたので、御紹介いたします。

## 「コミュニティ・スクールディレクター」の活動を通して

この事業に携わせていただきまして、由利本荘・にかほ地域の数多くの企業、事業所、施設をはじめ学校・教職員のたくさんの方々のご協力により活動できましたことは貴重な体験であり、特に生徒さんとの触れあう時間に対しまして厚く御礼申し上げます。

生徒さんが実習に向けた事前準備、体験等を通して得た有形無形の財産は大きな成長過程の中で、とても有意義で生徒自身の大事なものと思っております。

巡回指導時には、実習先における生徒さんへの評価も有り難いもので、基本的な挨拶・報告・連絡・相談等も良く対応されておりましたとのことでした。

今後の道しるべとして、大きなものと思いますし、更なる向上心をもち生徒自身が成長してほしいと期待しております。地域の財である生徒さんが大きく育まれますように温かい目で見守って参りたいと強く思いました。

結びに、生徒さんの益々のご活躍、学校・教職員の益々のご発展ご健勝をご祈念申し上げます。

佐藤 一朗

😊 一年間お世話になりました。ありがとうございました。